

⑥ 千里丘区域

概要

毎日放送が転出して、区域の様子が大きく変わりました。以前は比較的小さな施設が緑豊かな環境の中にありましたが、それらは全て撤去され、大規模な造成が行われて、現在はほとんど道路と更地になっています。今後はマンション等の建設が進行するものと考えられます。今回の調査はそれに隣接する千里丘稲荷神社の自由に立ち入りできる部分と、近くの散策路及び芦屋東公園と三保ヶ池付近で行いました。

哺乳類

現地でアブラコウモリしか発見できなかったのは、開発で哺乳類の生息環境が悪化したことと、自動カメラが使えず姿を確認できなかったためと考えられます。全2目2科2種(うち現地1目1科1種)アブラコウモリのみ

鳥類

ため池があるので、冬季にはカモ類の渡来があります。それ以外は工事中などのため主に町なかの鳥が中心です。全9目24科39種(うち現地7目21科33種)コサギ、アオサギ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、コサメビタキ、シジウカラ、メジロ、スズメ、ハシブトガラスなど

両生類・爬虫類

減少が著しい種のひとつであるトノサマガエルの生息が確認されたことが注目されます。全3目8科10種(うち現地3目8科10種)アマガエル、トノサマガエル、ウシガエル、ヌマガエル、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ、ニホンヤモリ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、シマヘビ

昆虫類

農地的な環境を好むキアゲハを確認できたのはこの区域だけです。全11目148科517種(うち現地9目65科138種)ジウジカメムシ、コバネイナゴ、ミズイロオナガシジミ、アジアイトトンボ、アオモンイトトンボなど

植物群落

以前広がっていた里山的な植生群落は大きく改変されて、かなりの部分が裸地化されました。残された林の一部は下生えを刈って公園になります。

植物相

新芦屋中央公園と千里丘稲荷神社にそれぞれコナラ・アベマキ林があり、アカマツ林やコナラ林の構成種が残っています。全94科340種(現地94科340種/文献なし)ウスノキ、ナツハゼ、カンサイスノキ、シヤシヤンボ、サヤヌカグサ、アシボソ、ヌメリグサ、コブナグサ、アゼナ、チョウジタデ、コナギ、テンツキ、キカシグサ、シロバナサクラタデなど



三保ヶ池の景観



エナガ



ジウジカメムシ



ヒメガマ